



LOD Challenge 2014

オープンデータ活用によるICT活用教育のレベルアップ

ーICT活用教育ポータルサイトの構築ー

石 黒 洋



教育の情報化において教師に求められる能力

平成22年の学習指導要領の改訂により、情報教育や授業におけるICT活用など、学校における教育の情報化について一層充実が図られることになった

教員には以下の能力が求められている

指導に必要な資料を収集する際に、インターネットなどの**豊富な情報源**を利用すること、教科研究会などのメーリングリストを用いて、**教材情報などを共有**することが考えられる。中学校や高等学校では、教科・科目によっては校内に担当教員が一人しかいないという場合もあり、他校の同一教科・科目の**教員と連携**を深めることは重要である。こうした人的ネットワークも含めた、**様々な情報源を用いて、効率的な収集方法で指導目標に沿った資料を、的確に収集できる能力**を評価する。

教師の悩み

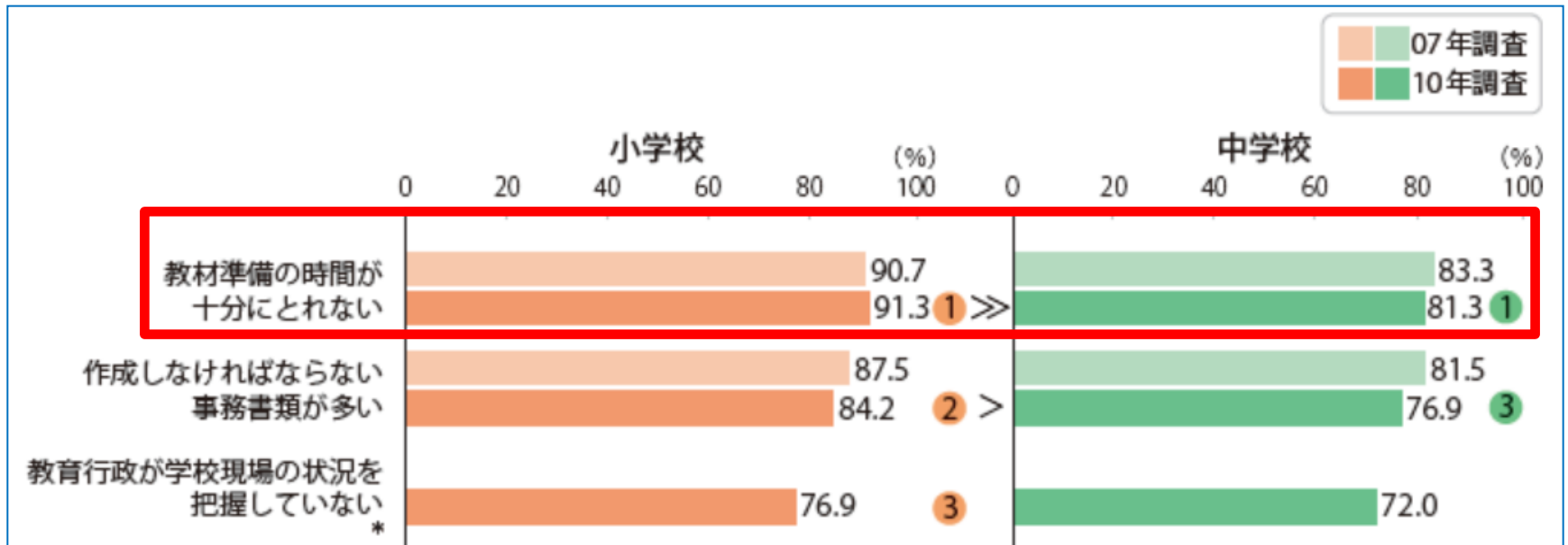
教師には

「様々な情報源を用いて、効率的な収集方法で指導目標に沿った資料を、的確に収集できる能力」

が求められている一方、教師の一番の悩みは

「教材準備の時間が十分にとれない」

ことである



出典: ベネッセ教育総合研究所「第5回学習指導基本調査(小学校・中学校版) [2010年]」
http://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/shidou_kihon5/sc_dai/dai_27.html

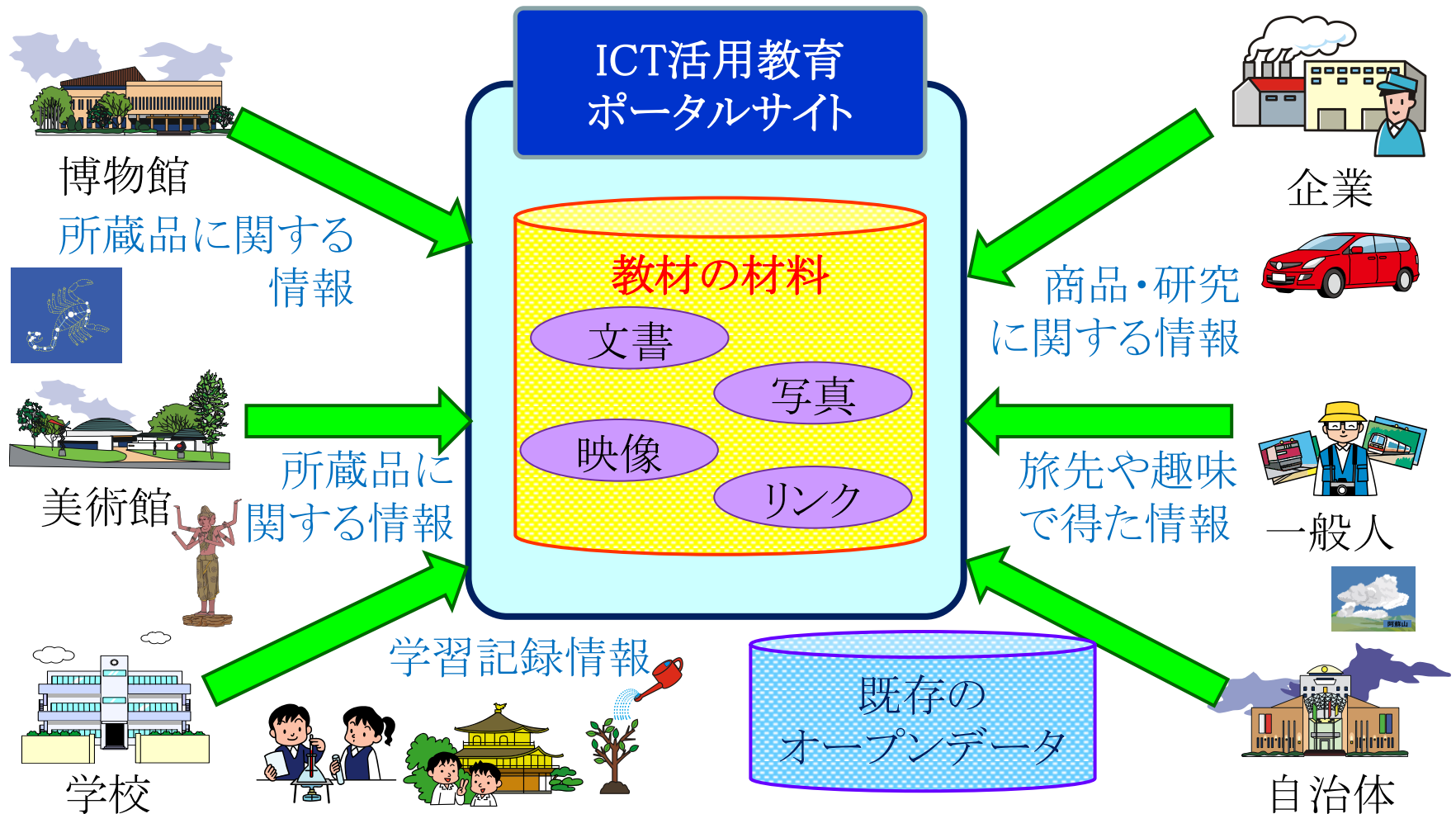
提案するアイデア

教師が指導目標に沿った質の高い教材を効率よく作成するために

- (1) 教材の豊富な情報源
- (2) 教材情報の共有場所
- (3) 教員同士の連携を深める場

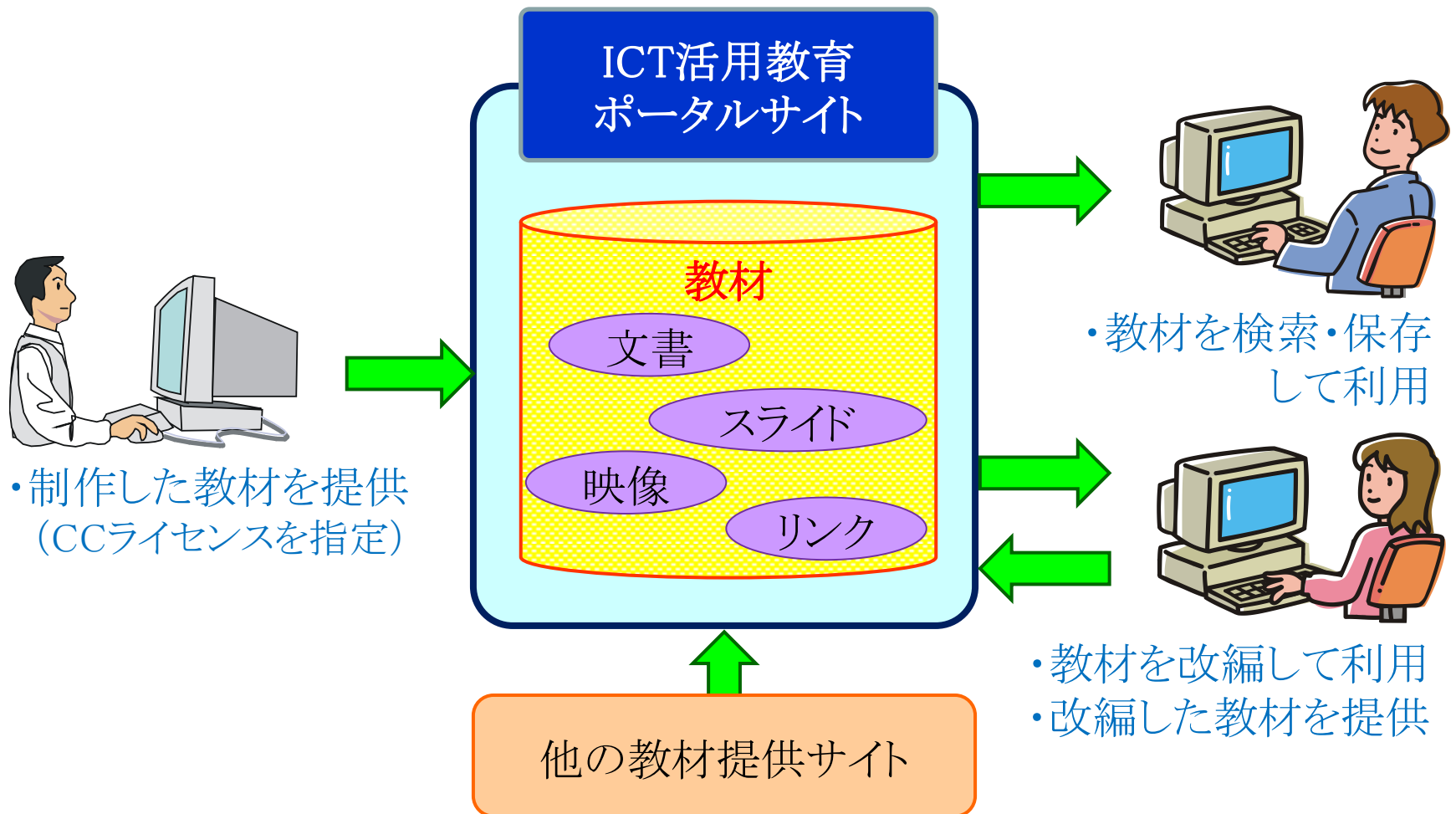
としての「ICT活用教育ポータルサイト」を構築するアイデアを提案する

(1) 教材の豊富な情報源の提供



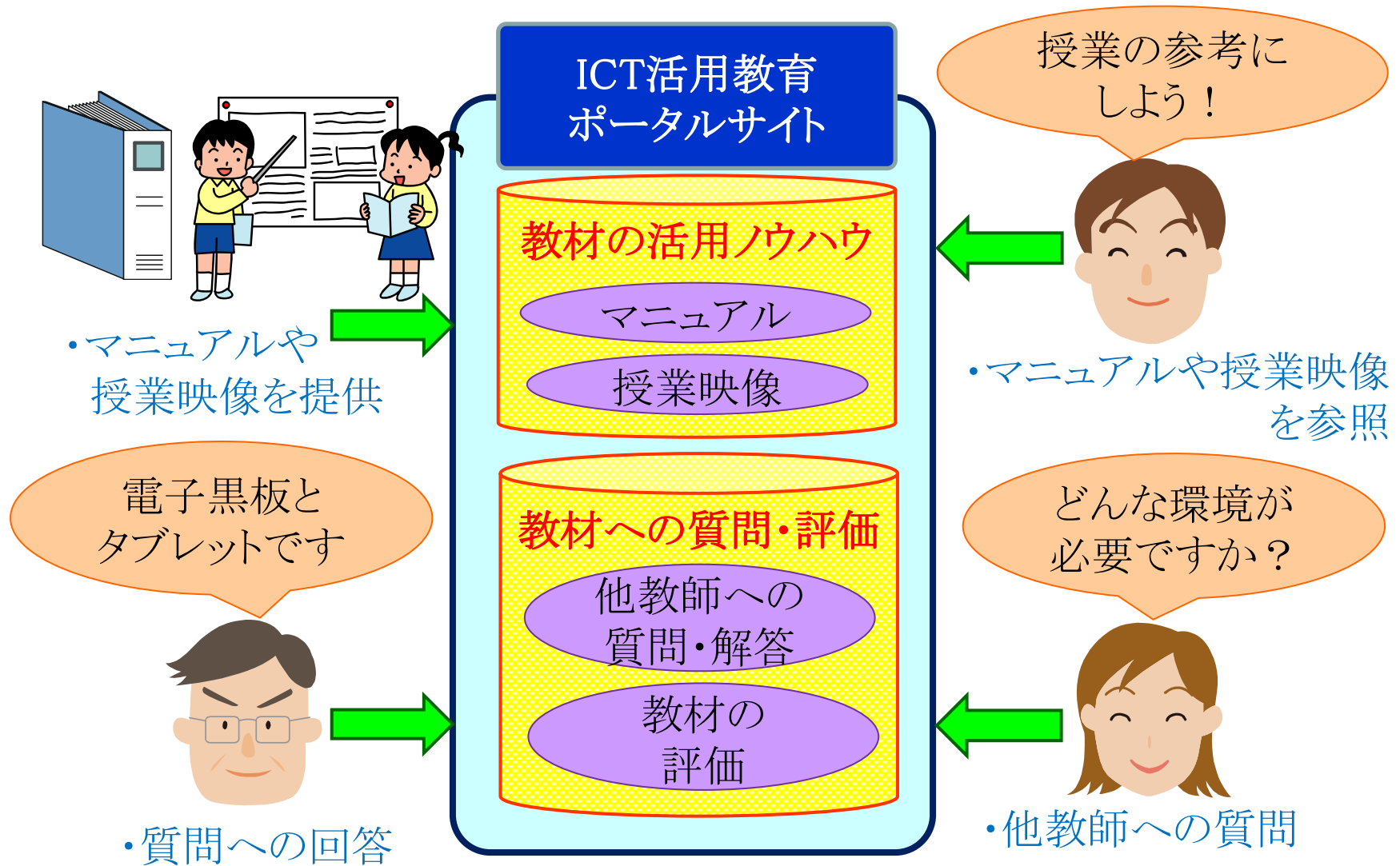
様々な組織・人が持つ教材の材料情報を蓄積し、オープンデータとして公開

(2) 教材の共有場所を提供



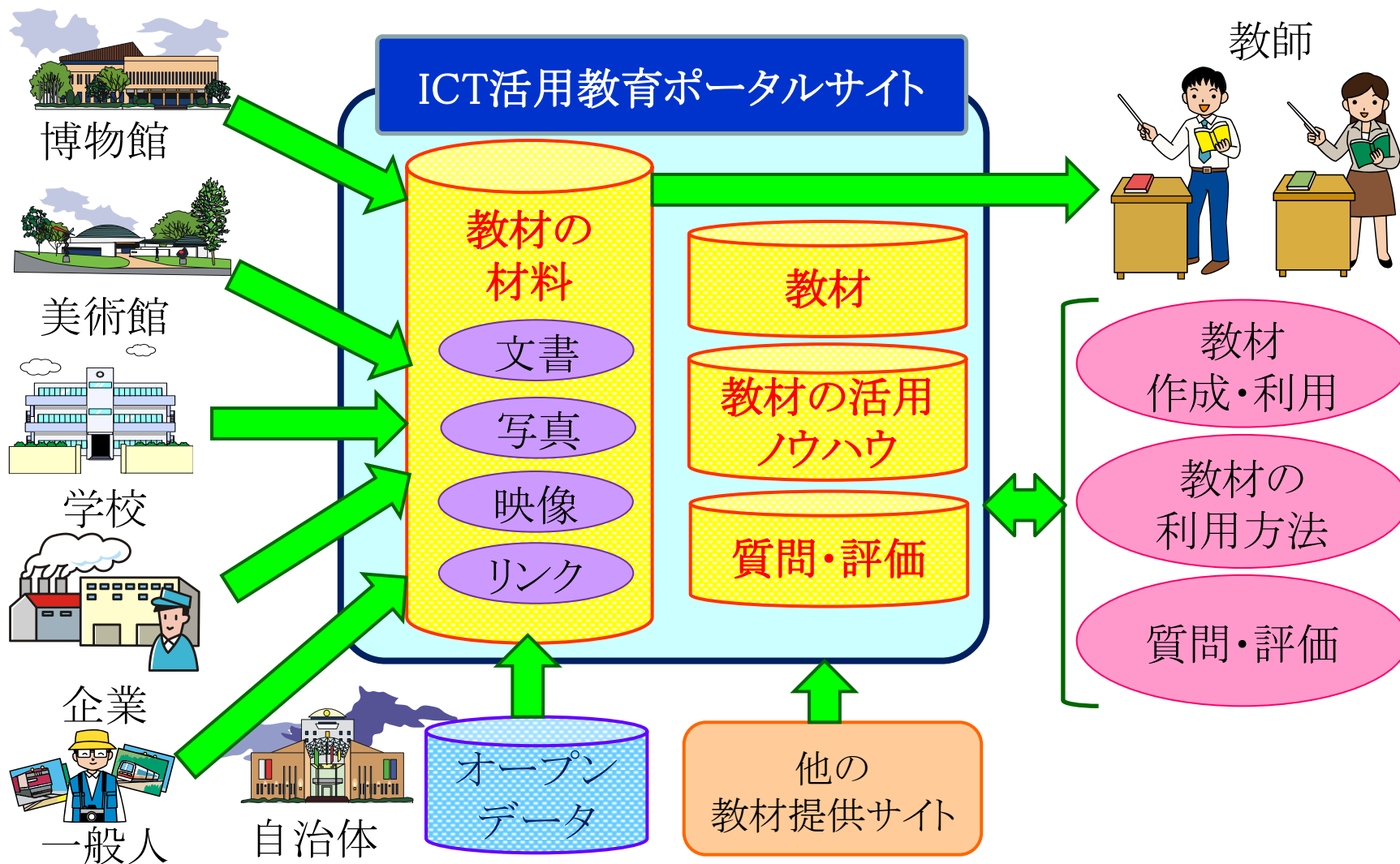
教師が制作した教材を共有 (CCライセンスを指定)

(3) 教員同士の連携を深める場を提供



制作者-利用者、ベテラン-新米など多様な教師同士が連携

アイデアの全体像



「豊富な情報源」、「教材情報の共有」、「教員同士の連携」を実現

まとめ

■アイデア実現により期待される効果

- ① 教員のICT活用指導力アップ
- ② 教員の教材準備時間の短縮(負荷軽減)
- ③ 制作した教材が評価されることによる教員のやる気アップ



教育の質向上

